

『防犯ほっとステーション』主な相談内容【7月分】

【相談件数】 11件 （詐欺 5件、不審者 2件、その他 4件）

【主な相談内容】

相談①	70代 女性 郵便局員を名乗る人から電話があり、「郵便物が正常に配送できない」という自動音声の流れ、その後、ダイヤル誘導で指定の番号を押したところ、個人情報を確認させられた。
相談②	80代 男性 不審な電話がかかってくるが、電話に取付ける録音装置などの貸し出しは行っているか？また、購入するための補助などはあるか？
相談③	30代 男性 詐欺電話と思われる電話に、うっかり折り返してしまい、名前と生年月日を教えてしまった。

※現在、市では電話に取付ける録音装置の貸し出しや補助を行っていませんが、警察署で固定電話に装着する録音装置を配布しています。

依然として、市内における特殊詐欺の予兆と思われる情報が入ってきています。
不審な電話には十分注意し、おかしいと思ったら家族や警察に相談しましょう。